

神津島の火山活動解説資料（平成 28 年 8 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2）

前浜南東遠望カメラ（天上山の南西約 3 km）による観測では、天上山山頂部に噴気は認められません。

・地震や微動の発生状況（図 3－①②、図 4）

28 日 5 時 44 分に発生した新島・神津島近海（神津島島内、深さ約 10 km）の地震で、神津島村で震度 3 を観測しました。この地震の前後で、火山活動には特段の変化はみられません。その他は、神津島付近を震源とする火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しています。火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図 1、図 3－③～⑤）

GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

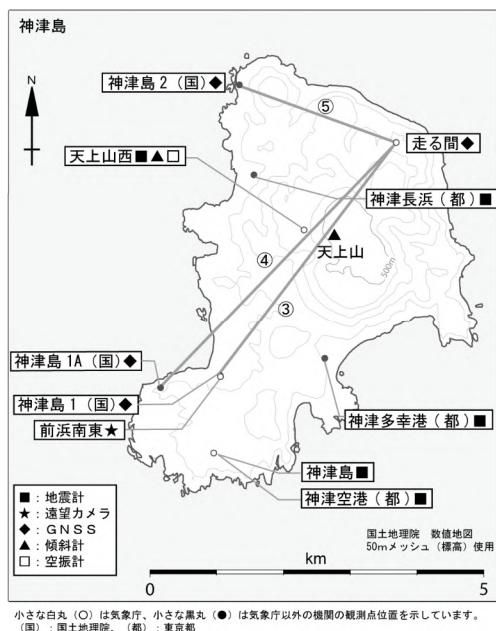


図 2 神津島 天上山山頂部の状況
(8 月 18 日、前浜南東遠望カメラによる)

図 1 神津島 観測点配置図

GNSS 基線③～⑤は図 3 の③～⑤に対応しています。
神津島 1 から神津島 1A に 2014 年 9 月 19 日移設。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 28 年 9 月分）は平成 28 年 10 月 11 日に発表する予定です。
この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

【計数基準の変遷】

A型地震

2010年10月1日（観測開始）～ 天上山西から半径5km、深さ15km以内

B型（BH型、BL型）地震

初期 2010年8月2日～2013年9月30日 天上山西振幅0.8 μ m/s以上

変更 2013年10月1日～ 天上山西振幅4.0 μ m/s以上

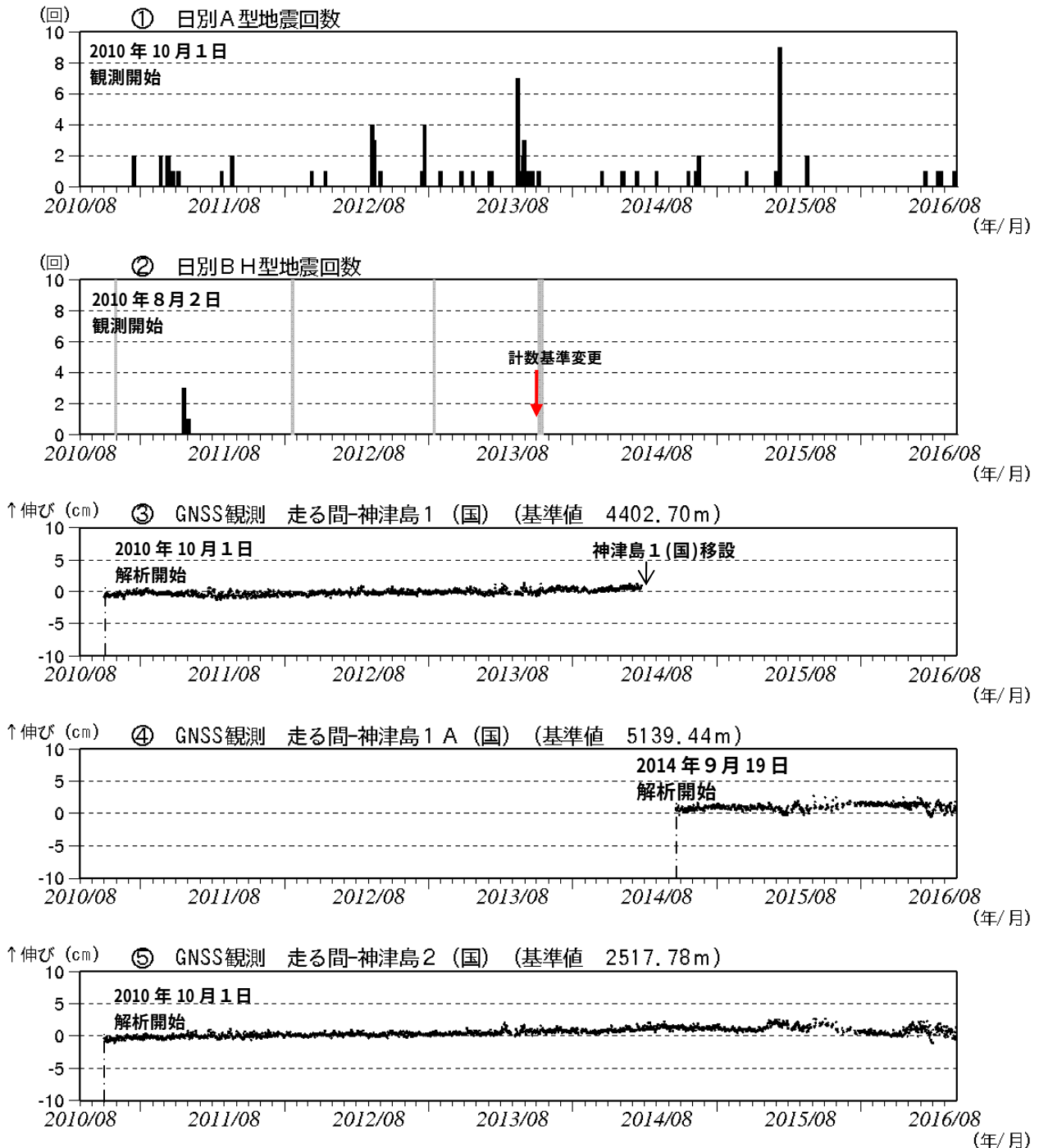


図3 神津島 火山活動経過図(2010年8月2日～2016年8月31日)

①～②神津島周辺の日別地震回数

・図の灰色部分は機器障害による欠測を示します。

③～⑤GNSS連続観測による基線長変化（国）：国土地理院

・③～⑤は図1のGNSS基線③～⑤に対応しています。

・グラフの空白部分は欠測を示します。

・神津島1から神津島1Aに2014年9月19日移設しました。

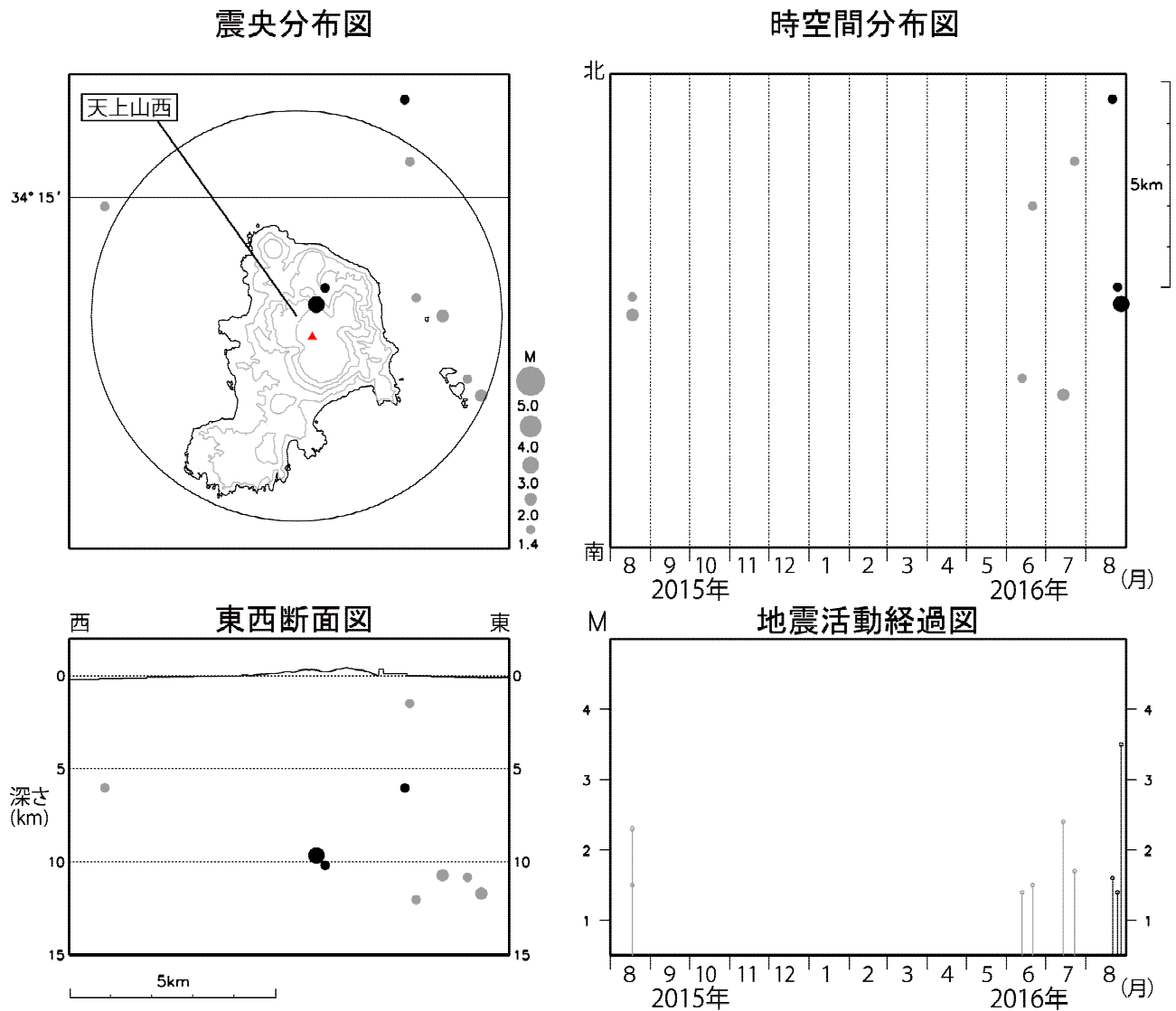


図 4 神津島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2015 年 8 月 1 日～2016 年 8 月 31 日）

- ：2015 年 8 月 1 日～2016 年 7 月 31 日 ●：2016 年 8 月 1 日～8 月 31 日
- ・ M（マグニチュード）は地震の規模を表し、M1.4 以上の地震を表示しています。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・ 計数対象（天上山西から半径 5 km、深さ 15km 以内）以外の地震が含まれるため、図 3 ①の日別 A 型地震回数とは異なります。